

平成五年八月二十一日 信者宿泊処の清めに当たつて

神 示

長きにわたり 神示教会守り主として

「みち 眞実の光」こんにち 磨き続けた今日までを

信者一同に成り代わり 神が直々こっぴ頭を垂れる

きょうび 今日日 この地は生まれ変わりに

信者 世の人の憩いの場として

直使の偉光に見守られ

仕合せの館がこの場に光る

供丸姫の悲しみの涙が 喜びの宝に変わる日

今日日記念日 ありがとう

多くの人を救ってくだされ 憩いの館

「みち 眞実の光」ここにあり

平成五年吉日に 直使の偉光に見守られ

救世の場——と この地は変われり